

■SEU操作手順について

※本資料では本編に登場する物理ファイル「会社マスタファイル (BDCMPF) 」のソースメンバーを作成する手順をご紹介します。

- 1. ソースメンバーの追加
  - 1.1 ソースファイルの確認

物理ファイルの元となるソースファイルを確認します。

```

          コマンド入力 SPOKE3B
          要求レベル : 4
    前のコマンドおよびメッセージ :
      > WRKOBJPDM LIB(SAMPLE1) OBJ(QDDSSRC) OBJTYPE(*FILE)
          ユーザーが F12 キーを押して、コマンド・プロンプトを終了した。

          終わり

    コマンドを入力して、実行キーを押してください。
    ==> WRKOBJPDM LIB(SAMPLE1) OBJ(QDDSSRC) OBJTYPE(*FILE)

    F3= 終了   F4=ホ`リホ`n   F9= コマンドの複写   F10= 詳細なメッセージの組み込み
    F11= 全画面表示   F12= 取り消し   F13= 情報援助   F16=ニヌmw、xb]、xpヤ`
    
```

```

          PDM を使用したオブジェクトの処理 SPOKE3B

    ライブラリー . . .   SAMPLE1   位置指定 . . . . .
          タイプの位置指定 . . . . .

    オプションを入力して、実行キーを押してください。
    2= 変更   3= コピー   4= 削除   5= 表示   7= 名前の変更
    8= 記述の表示   9= 保管   10= 復元   11= 移動 . . .

    OPT  eホ`ニ`yhnh   jbホ`   属性   mgヌn
    ー   QDDSSRC   *FILE   PF-SRC   サンプル用 DDS ソース

          終わり

    パラメーターまたはコマンド
    ==>
    F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F6= 作成
    F9= コマンドの複写   F10= コマンド入力   F23=eホ`ニ] 続き   F24=g- の続き
    これはサブセットされたリストである。
    
```

OPTに「12」を入力して中のメンバーを確認します。

```

          PDM を使用したメンバーの処理 SPOKE3B

    ファイル . . . . .   QDDSSRC
    ライブラリー :   SAMPLE1   位置指定 . . . . .

    オプションを入力して、実行キーを押してください。
    2= 編集   3=テヘ`   4= 削除   5= 表示   6= 印刷   7= 名前の変更
    8= 記述の表示   9= 保管   13=mgヌn の変更   14=テ]ブ`bて   15=yニ`ヤ`て 作成 . . .

    OPT  x]フ`-   jbホ`   mgヌn
    ー   SAMPLE   PF   サンプル

          終わり

    パラメーターまたはコマンド
    ==>
    F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F6= 作成
    F9= コマンドの複写   F10= コマンド入力   F23=eホ`ニ] の続き   F24=g- の続き
    
```

2.2ソースメンバー追加

F6でメンバーを追加していきます。



実行を押すと、下の画面になりますので画面上でソースメンバーの情報を入力していきます。

この画面での編集においては、途中段階でも保存することが可能です。



<保存方法>

内容入力後、F3キーを押すと下の終了画面に移るため、「メンバーの変更/作成」について「Y」を入力して実行します。



### <既存メンバーの編集方法>

該当するメンバーに対して、OPTに2：編集を入力します。

```
桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEI=>                                         BDCMPF
FMT PF .....A.....T.NAME+++++RLEN++TDPB.....FUNCTIONS+++++
***** データの始め *****
***** データの終わり *****

F3= 終了  F4=リターン  F5= 最新表示  F9=コマンド`の複写  F10=f-キー  F11= 切り替え
F16= 検索の反復  F17= 変更の反復  F24= キーの続き
(C) COPYRIGHT IBM CORP. 1981, 2013.
```

### 3.実際のデータの入力

#### 3.1行の追加

入力行に「I」を追加して、実際のデータを入力していきます。追加すると、下の画面のように1行空白の行ができていくので必要な行数分を追加していきます。

```
桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEI=>                                         BDCMPF
FMT PF .....A.....T.NAME+++++RLEN++TDPB.....FUNCTIONS+++++
***** データの始め *****
***** データの終わり *****

F3= 終了  F4=リターン  F5= 最新表示  F9=コマンド`の複写  F10=f-キー  F11= 切り替え
F16= 検索の反復  F17= 変更の反復  F24= キーの続き
```

#### 3.2データの入力方法

上部にある「A」や「T.NAME」と記載された行が目安となります。

今回作成するのは物理ファイルなので、Aを先頭に入力します。

まずは、ファイルのタイトルを入力するため、コメント行として「A\*」を追加します。

```
桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEI=>                                         BDCMPF
FMT PF .....A.....T.NAME+++++RLEN++TDPB.....FUNCTIONS+++++
***** データの始め *****
A* 会社マスター 物理ファイル ( BDCMPF )
***** データの終わり *****

F3= 終了  F4=プロンプト  F5= 最新表示  F9=コマンド`の複写  F10=f-キー  F11= 切り替え
F16= 検索の反復  F17= 変更の反復  F24= キーの続き
```

2行目には「UNIQUE」の文字を追加します。

先頭の「A」を入力してその行の下にカーソルを当てた状態でF4キーを実行すると、下の画像のようにプロンプトが表示されます。

詳細は本編内の「物理ファイルメンバー作成時に出てくる専門用語について」をご確認ください。

```

桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEU=>                      BDCMPF
FMT A* . . . . . A* 1 . . . + . . . 2 . . . + . . . 3 . . . + . . . 4 . . . + . . . 5 . . . + . . . 6 . . . + . . . 7 . . . + . . . 8
***** データの始め *****
0001.00  A* 会社マスター 物理ファイル ( BDCMPF )                      260224
0002.00  A                      UNIQUE                      260224
0003.00  A                      260225
***** データの終わり *****

          プロンプト/タイプ . . . PF      順序番号 . . . . . 0002.00

          名前          名前          参照      長さ      データ  小数部
          タイプ        名前          参照      長さ      タイプ 桁数      使用
          機能
          UNIQUE

F3= 終了   F4=プロンプト   F5= 最新表示   F11= 前のレコード
F12= 取り消し   F23= 選択プロンプト   F24= キーの続き
  
```

次にレコード様式の設定を行います。

まずは、先頭に「A」を入力し、続いてレコードのため名前タイプに「R」を入力します。

名前にレコード様式名の「BDCMR」を入力し、機能には説明のため「TEXT('品目マスター・レコード')」を入力します。

```

桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEU=>                      BDCMPF
FMT A* . . . . . A* 1 . . . + . . . 2 . . . + . . . 3 . . . + . . . 4 . . . + . . . 5 . . . + . . . 6 . . . + . . . 7 . . . + . . . 8
***** データの始め *****
0001.00  A* 会社マスター 物理ファイル ( BDCMPF )                      260224
0002.00  A                      UNIQUE                      260224
0003.00  A                      260225
***** データの終わり *****

          プロンプト/タイプ . . . PF      順序番号 . . . . . 0003.00

          名前          名前          参照      長さ      データ  小数部
          タイプ        名前          参照      長さ      タイプ 桁数      使用
          R          BDCMR          -          -          -          -          -
          機能
          TEXT(' 品目マスター・レコード ')

F3= 終了   F4=プロンプト   F5= 最新表示   F11= 前のレコード
F12= 取り消し   F23= 選択プロンプト   F24= キーの続き
  
```

次にカラムをそれぞれ定義していきます。

実際のファイルでは複数のカラムを定義していますので、今回の例を参考に作成してみてください。

カラム定義では、ファイル上のカラムにおいてカラム名、カラムの長さ、データタイプ（数字変数か文字変数か）、

数字変数の場合のみ小数点以下の桁数、カラムの説明を設定していきます。

今回は、名前に「CMBANG」、長さに「5」、データタイプに「S」（ゾーン10進数はS、文字変数はO）、

小数部桁数は「0」、機能に「COLHDG('会社'番号)」を入力します。

```

桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEU=>                      BDCMPF
FMT A* . . . . . A* 1 . . . + . . . 2 . . . + . . . 3 . . . + . . . 4 . . . + . . . 5 . . . + . . . 6 . . . + . . . 7 . . . + . . . 8
***** データの始め *****
0001.00  A* 会社マスター 物理ファイル ( BDCMPF )                      260224
0002.00  A                      UNIQUE                      260224
0003.00  A          R BDCMR          TEXT(' 品目マスター・レコード ')  260225
0004.00  A                      260225
0005.00  A          CMBANG          5S 0      COLEDG(' 会社 ' 番号 ')  260225
***** データの終わり *****

          プロンプト/タイプ . . . PF      順序番号 . . . . . 0005.00

          名前          名前          参照      長さ      データ  小数部
          タイプ        名前          参照      長さ      タイプ 桁数      使用
          A          CMBANG          -          5          S          0          -
          機能
          COLEDG(' 会社 ' 番号 ')

F3= 終了   F4=プロンプト   F5= 最新表示   F11= 前のレコード
F12= 取り消し   F23= 選択プロンプト   F24= キーの続き
  
```

カラム定義が完了したら、キーフィールドの設定になります。  
 キーフィールドの設定では、名前タイプに「K」と入力します。  
 さらに、キーフィールドとなるカラムの名前を登録します。  
 今回は会社番号がキーフィールドになるため「CMBANG」と入力します。

```

桁 . . . . . : 1 80                      編集                      SAMPLE1/QDSSRC
SEU=>                                         BDCMPF
FMT PF . . . . . A . . . . . T.NAME+++++RLEN++TDPB . . . . . FUNCTIONS+++++
0003.00 A          R BDCMR                TEXT(' 品目マスター・レコード ') 260225
0004.00 A
0005.00 A          CMBANG                5S 0  COLHDG(' 会社 ' ' 番号 ') 260225
0006.00 A          CMNAKN                200  COLHDG(' 会社名-カナ ') 260225
0007.00 A          CMNAKJ                200  COLHDG(' 会社名-漢字 ') 260225
0008.00 A          URTAGE                10S 0 COLHDG(' 売上高 ') 260225
0009.00 A          EMPCNT                5S 0  COLHDG(' 従業員数 ') 260225
0010.00 A          SHRGKU                10S 0 COLHDG(' 仕入額 ') 260225
0011.00 A          AVESLR                6S 0  COLHDG(' 平均給与額 ') 260225
0012.00 A
0013.00 A          K CMBANG                260225
***** データの終わり *****
          プロンプト・タイプ . . . PF      順序番号 . . . . . 0013.00
          名前          名前          参照      長さ      データ      小数部
          タイプ        CMBANG        -          -          タイプ      桁数      使用
          K
          機能
F3= 終了   F4=プロンプト   F5= 最新表示   F11= 前のレコード
F12= 取り消し   F23= 選択プロンプト   F24= キーの続き
  
```

完了した状態が下の画面になります。

```

桁 . . . . . : 1 80                      走査検索                      SAMPLE1/QDSSRC
SEU=>                                         BDCMPF
FMT A* . . . . . A* 1 . . . + . . . 2 . . . + . . . 3 . . . + . . . 4 . . . + . . . 5 . . . + . . . 6 . . . + . . . 7 . . . + . . . 8
***** データの始め *****
0001.00 A* 会社マスター 物理ファイル (BDCMPF) 260129
0002.00 A          UNIQUE                260129
0003.00 A          R BDCMR                TEXT(' 品目マスター・レコード ') 260129
0004.00 A
0005.00 A          CMBANG                5S 0  COLHDG(' 会社 ' ' 番号 ') 260216
0006.00 A          CMNAKN                200  COLHDG(' 会社名-カナ ') 260206
0007.00 A          CMNAKJ                200  COLHDG(' 会社名-漢字 ') 260129
0008.00 A          URTAGE                10S 0 COLHDG(' 売上高 ') 260217
0009.00 A          EMPCNT                5S 0  COLHDG(' 従業員数 ') 260216
0010.00 A          SHRGKU                10S 0 COLHDG(' 仕入額 ') 260217
0011.00 A          AVESLR                6S 0  COLHDG(' 平均給与額 ') 260217
0015.00 A
0016.00 A          K CMBANG                260129
***** データの終わり *****
          F3= 終了   F5= 最新表示   F9=テンの複写   F10=f-   F11= 切り替え   F12= 取り消し
          F16= 検索の反復   F24= キーの続き
          (C) COPYRIGHT IBM CORP. 1981, 2013.
  
```

以上です。